



世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構（JICA）デスク熊本や、国際交流、協力分野で活躍している皆さんのご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

セネガルの好きな言葉 “ジャム・レック”

青年海外協力隊 猿渡 真由美さん

（平成23年9月～平成25年9月セネガル派遣、職種：エイズ対策）

「アフリカ」と聞いて思い浮かべるものは何ですか？

サバンナで悠々と歩くゾウやキリンでしょうか。雄々しいライオン？それとも秘境と呼ばれる所に住む様々な部族の人たち？

セネガルから帰国した時、よく聞かれたのが「ライオンは見た？」でした。でも、私が住んでいたセネガルには野生のライオンは生息していません。

セネガルは西アフリカに分類され、サハラ砂漠の南側に位置しています。サバンナではなく砂漠が広がり、一般的にはサヘル地域（サハラ周辺の地域）と呼ばれています。なので、ライオンもゾウもキリンも生息することができないのです。居るのは、ロバやラクダ、ハリネズミなどです。時にはサソリを見かけることもありました。



街でよくみる働き者のロバ

気候はステップ気候で、雨季と乾季に分かれます。雨季の時期は3か月ほどしかなく、雨季が過ぎると全く雨が降ることはありません。そんな過酷な環境の中、セネガルの人たちは暮らしているのです。過酷な環境で暮らしているためか、みんな周りの人に対してとても親切です。その優しさは、あいさつの中にも表れています。

「こんにちは」から始まり、「家族は元気？」「仕事はどう？」など次々に色々なことを聞かれます。それに対して「家族は元気だよ」等々応えていくのですが、そのあとに

必ず言うのが“ジャム・レック”です。最後は挨拶している人たち同士で「ジャム・レック」「ジャム・レック」と言ったりします。

この“ジャム・レック”、日本語ではどのような意味だと思いますか？“ジャム＝平和”、“レック＝だけ”。つまり“平和だけ”という意味なのです。

普段のあいさつから“平和”という言葉を使うためか、セネガルの人たちは争いごとを好みません。派遣1年目で迎えた大統領選挙。アフリカで見受けられる暴動などが予想されていましたが、大きな騒動になることもなく、無事に終了したくらいです。セネガル人に言わせると「セネガルではジャム・レックだからね!」と。

この“平和だけ”の国で学んだこと：周りの人に対する親切な心。友達を大切にもてなす気持ち。一緒にいるという時間を大切にすること。これらのことをこれから日本でも大切にし、また周りの人に実践していきながら伝えていきたいと思っています。“ジャム・レック”の世界を目指して。



職場の同僚の家族と